

地震、悪疫、黒船、戦争、  
 経済、信仰、道中、心中、  
 佐倉宗吾、国定忠治、高橋お伝……。

幕末・維新期の  
 世相を伝える、  
 有力メディアの全貌。



# くゞきぶし の世界

倉田喜弘 編著



明治十三年五月十四日 祐福  
 東京日本橋區  
 馬喰町三丁目六番地  
 編輯 古田小土口

定価老銭五厘

ゆまに  
 書房 YUMANI SHOBUN

舟幅六八間 石火矢六挺  
 檣中二十六間 大筒十八挺  
 帆柱二本 水車四間半  
 標出二丈八尺 筒十八挺

下



東海五ヶ國  
 地震



市中 大道軒板

江戸  
 凶立  
 悪病  
 とどろく  
 久と規

上



二〇一〇年十二月刊

A5判上製 / カバー装

●定価：本体三、八〇〇円＋税

ISBN978-4-8433-5952-5 C3073

# 幕末維新期の世相を歌った貴重な七七調の摺物「くどきぶし」を精選

刊行にあたって

倉田喜弘

江戸時代の後期から明治末までのおよそ百年間、薄葉の摺物が多数出回った。「かわら板」ともいう。その中には、地震、火事、風水害などの天変地異、「コレラ」や「はしか」といった疫病の流行、さらに驚天動地の黒船来航もある。多彩な摺物の中には小説もあるが、「くどきぶし」ないし「くどきやんれぶし」と表題の付いた印刷物を集めてみた。

歌詞はすべて七七調だけに、朗読に近い単純なフシ回しであったらうと推測している。なお作品の最後は、「やんれ」あるいは「やんれエ」としめくくるので、「やんれぶし」とも「やんれエぶし」ともいう。

「くどき」の普及は江戸末期の弘化、嘉永以降であるが、書店や街角で売られたという。ちょうど黒船が来航し、日本国内では開国攘夷の嵐が吹き荒れた時代である。そして数十年後の明治末期に至るまで、「くどき」は出版され続ける。たとえば新聞小説の「金色夜叉」や「不如帰」、それに当時流行した義太夫節の「傾城阿波鳴門」などが、七七調の文体に変えられている。

この、庶民に広く浸透した「摺物」は当時の有力なメディアであり、近代の新聞や芸能の源流の一つではないかと考えられるのである。

## 目次から

<b>〔二〕地 震</b>	
一 北越地震口説(越後地震)	文政十一年
二 信州ちしんやんれぶし(善光寺地震)	弘化四年
三 大坂下りなまづのかるわざ(番貝師の口上)	安政二年
四 信州ちしんやんれぶし(善光寺地震)	弘化四年
五 相州小田原箱根地震くどき	嘉永六年
六 東海道五ヶ国地震くどき	嘉永七年
七 東海道大ちしんくどきぶし	同
八 江戸大火ちしんくどき(安政地震)	安政二年
九 吉原名よせ大地震やけはらくどき	同
*聖代要廻警寿恵(災害番付)	
<b>〔三〕火 災</b>	
一〇 新板お七吉三くどき(明暦大火)	弘化三年
一一 火の要懐やんれぶし	弘化三年
一二 東京大火しんぶん	明治十二年
<b>〔三〕風 水 害</b>	
一三 新板大あらしくどきぶし	安政三年
一四 江戸大風出水くどき	同
<b>〔四〕病 気</b>	
一五 江戸近在近く悪病くどき(コレラ)	安政五年
一六 流行はしかくどきやんれぶし	文久二年
<b>〔五〕信 仰</b>	
一七 金毘羅御利生記くどき	弘化四年
一八 新板源治くどきぶし(善光寺詣り)	弘化四年
<b>〔六〕道 中 記</b>	
一九 日光道中恋ちくどきぶし	弘化四年
二〇 東海道五十三次やんれぶし恋の道中	弘化四年
<b>〔七〕世 相</b>	
二二 天日坊稚口説やんれぶし(御落胤騒動)	嘉永二年
二三 平井権八くどき	嘉永二年
二四 新板浮世悪とくどき(勢力雷五郎)	嘉永二年
<b>〔八〕開 国</b>	
二五 上州国貞むら忠治くどき(国定忠治)	文政十一年
二六 阿波鳴門順礼口説	弘化四年
二七 蒸気船茶殻口説(黒船来航)	嘉永六年
二八 此浦ぶねひやうぼんくどき(同右)	同
二九 流行新板ひよふばんくどき	嘉永七年
三〇 しん板交易くどき(横浜開港)	安政六年
三一 弥生の雪桜田くどき(桜田門外の変)	明治十一年
<b>〔九〕経 済</b>	
三二 長者銭屋一代くどき(銭屋五兵衛)	文久元年
三三 東海道金銭くどき(天保通宝)	文久元年
<b>〔十〕伝 承</b>	
三四 佐倉宗吾一代くどき	文久元年
三五 しん板あんちんきよひめくどきぶし	文久元年
<b>〔十一〕治 安</b>	
三六 常州湊たむろくどき節(天狗党)	文久元年
三七 上野戦争くどき(彰義隊)	明治十年
三八 鹿兒島太平くどき(西南戦争)	明治十一年
三九 鹿兒島口説やんれぶし(西南戦争)	明治十一年
<b>〔十二〕女 三 題</b>	
四〇 浅草御蔵前女のあだ打くどきぶし(女の仇討)	嘉永六年
四一 奥州笠松峠女盗賊くどき(鬼神のお松)	嘉永六年
四二 高橋おでんくどき	明治十三年
<b>〔十三〕心 中</b>	
四三 鈴木もんどしら糸くどき(鈴木主水)	明治十三年
<b>〔十四〕ちよぼくれ</b>	
四四 よぼくれ武士	嘉永七年
四五 ちよぼくれちよんがれ	安政二年
四六 時務作ちよぼくれ節	安政四年
四七 あべこべもんのちよぼくれ	万延元年
<b>〔十五〕参 考 資 料</b>	
くどき節の今昔(佐渡新聞)	明治四十五年

## 本書の特色

- 編著者が収集したものの内、貴重と思われる四十七の作品を翻刻して収録。
- 注を加え、事件の背景など参考事項も付記。専門家以外にも手に取りやすくした。
- 幕末から明治にかけて、当時の庶民の興味関心事を伺うことができる。
- 同類の「ちよぼくれ」や、くどき関連の新聞記事など、参考資料も充実。

倉田喜弘(くらた よしひろ) 一九三二年、大阪市生まれ。大阪府立大学経済学部卒。NHKに勤務。編著書…『一八八五年ロンドン日本人村』(朝日新聞社・一九八三年)、『日本近代思想大系18 芸能』(岩波書店・一九八八年)、『近代日本芸能年表』全二巻(ゆまに書房・二〇一三年)、『川上音二郎欧米公演記録―付・貞奴の女優養成―』(ゆまに書房・二〇一〇年)ほか多数。

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493 <http://www.yumani.co.jp/> e-mail eigyou@yumani.co.jp

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		*毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	くどきぶしの世界		取扱店
	●定価：本体3,800円+税 ISBN978-4-8433-5952-5 C3073		
お名前			
ご住所			
TEL ( )			